

2020年2月28日

東急不動産株式会社

次世代物流センター創出に向けた企業連携を加速

「冷凍冷蔵対応」に関する業務提携、業界初の「空間音響サービス」導入

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：大隈 郁仁）は、労働人口の減少で深刻化する人手不足、労働環境の改善、働く人の多様化など、物流業界を取り巻くさまざまな社会課題を、東急不動産ホールディングスグループの総合力やパートナーシップにより解決するべく、企業連携の強化に取り組むことのお知らせ致します。具体的には、「冷凍冷蔵設備への対応」および「業界初の空間音響サービス」の推進を通じて、次世代物流センター創出をめざします。

次世代物流センター創出への取り組み

冷凍冷蔵設備への対応

フロンガス規制や老朽化に伴う建替え需要へ対応



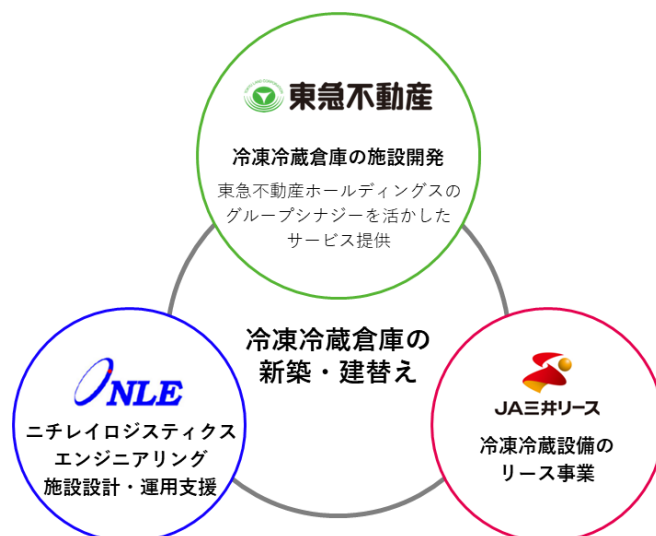
業界初の空間音響サービス

共用部に業界初のサービスやオリジナルアロマを導入



■ 冷凍冷蔵対応：ニチレイ・ロジスティクスエンジニアリング、JA三井リースとの業務提携契約締結

冷凍冷蔵設備のフロンガス規制、冷凍冷蔵倉庫施設の老朽化による新築・建替え需要が拡大しています。当社は、冷凍冷蔵倉庫業界最大手「ニチレイロジグループ」のエンジニアリング事業部門である株式会社ニチレイ・ロジスティクスエンジニアリング（本社：東京都中央区、代表取締役社長：井藤 勉）、およびJA三井リース株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：古谷 周三）と2020年1月に業務提携契約を締結し、冷凍冷蔵倉庫の新築・建替え促進に取り組めます。



当社はテナントのご要望に応える冷凍冷蔵倉庫の施設開発、ニチレイ・ロジスティクスエンジニアリングは冷凍冷蔵設備の企画設計ならびに竣工後の設備運用支援、J A三井リースは冷凍冷蔵設備のリース事業を連携して行います。また、今後はB T S型での冷凍冷蔵倉庫建設以外に、ドライ倉庫建設においても、設計段階当初より一部床に冷凍冷蔵設備が設置可能な設備・床加重などを取り入れることで、小規模テナントに対応したソリューションを展開していく予定です。

■ 業界初のサービス：ビクターエンタテインメントとの連携による空間音響サービスの初導入ほか

当社が開発した物流施設内において、音や香りなど五感に訴える空間づくりを行っています。「LOGI'Q 白岡」「LOGI'Q 三芳」では、ビクターエンタテインメント（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：齊藤 正明）が提供する空間音響サービス「KooNe[クーネ]」を物流業界で初めて導入しました。ハイレゾ音源を用いたバイオフィリックデザインで、聴覚を中心とした居心地のよいリラックス空間を創造しています。仕事のストレスを軽減し、コミュニケーションや創造性を向上させる場を提供します。



鳥の声は上から。川の音は下からやわらかく包み込む自然界のもののような音空間を再現します。

また、樹をメインとしたブレンドを調香し、「LOGI'Q」らしさを表現したオリジナルのアロマも、「LOGI'Q 白岡」「LOGI'Q 三芳」のエントランス共用部に導入しています。ストレスを軽減し、気持ちよく一日を始められるアロマスペースデザインを提案しています。



■ 東急不動産ホールディングスグループのサステナビリティ

当社グループでは、「事業活動を通じて社会課題を解決し、ステークホルダーとともに、サステナブルな社会と成長を実現すること」をサステナビリティビジョンとして掲げており、当社の物流施設「LOGI'Q」では、関わるすべての人に焦点をあてた施設開発を行っています。ハコやモノの枠を超えて、ライフスタイルを創造・提案する当社グループならではの施設づくりを展開し、働く場所としての魅力づけや物流施設としての価値向上を通じて、当社グループが取り組む ESG マネジメントや SDGs への貢献に寄与します。

東急不動産ホールディングスが取り組む SDGs：当社グループは、2015 年に国連サミットで採択された 2030 年までの「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献します。持続可能な世界を実現するための 17 の目標のうち、当社が取り組む項目を定め、SDGs を起点にサステナブルな社会と成長をめざします。

